

[新制度] 会員のグループによる自主企画助成 募集要項

日本社会教育学会では、2011年度以来、若手研究者の優れた研究を助成し、学会全体の研究を発展させるために「若手会員の萌芽的研究及び研究交流の奨励に関する助成（以下、萌芽的研究助成）」を行ってきました。制度開始から10年を数えた今年度から、萌芽的研究助成の枠組を刷新し、「会員のグループによる自主企画助成（以下、会員自主企画助成）」制度を新たに立ち上げました。「会員自主企画助成」は、3人以上の会員（特に若手会員）によって構成されるグループが、開かれた研究交流の促進と、学会の研究活動の一層の活性化を目的として自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなどの学習・研究活動）を行う際に、学会として助成を行うものです。これにより、多様な会員に開かれた研究交流の場を組織し、学会全体の研究活動が活性化することを目指しています。

本制度による助成を希望する会員は、募集要項に基づき、申請書を学会事務局（jssace.office@gmail.com）まで電子メールに添付ファイルで提出してください。締め切りは、2022年4月30日必着とさせていただきます。奮ってご応募ください。

○**目的**：会員（特に若手会員※）相互の研究交流の促進と学会における研究活動の活性化。

※若手会員とは、大学院入学後あるいは社会教育施設・団体等における職務に従事後、おおむね10年以内の会員とする。

○**内容**：①自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなど学会員にひらかれた学習・研究活動）を研究大会・六月集会以外の時期に1回実施する（必ず学会メールニュース等にて会員に周知する。オンライン開催も可）、②自主企画の実施内容について、助成を受けた翌年刊行の『社会教育学研究』にて報告する。

○**助成金額**：1件あたり10万円を上限とする申請方式

※予算案を踏まえて支出額を決定するため、応募時に予算案を提出してください。なお、支出可能な費目は、会場賃借料、交通費・宿泊料（グループメンバー分含む）、謝礼金（非会員の場合）、消耗品（記録作成経費含む）などです。※各グループには、企画実施後に会計報告を提出していただきます。

○**応募資格**：3人以上の会員によって構成されるグループ

※なお、応募多数の場合は、予算枠（年間20万円）上限として採択を行います。その際は、①年齢の若い人、②正規雇用職にない人、③学会加入年数の短い人の順に人数の多いグループを優先します。

※多様な会員に開かれた研究交流を促進するという主旨を踏まえ、所属機関、職業、性別、エスニシティなどに多様性のあるグループ構成となることを期待します。申請書に、「グループメンバーの特徴」として、この点に関する説明を付してもらいます。

○**応募締め切り**：4月末日とする。採用予定者を6月の全国理事会で決定後、公表する。

○**申請書**：別添

○**本件に関するお問い合わせ先**：学会事務局（jssace.office@gmail.com）